



令和4年度
足羽中学校
スクールプラン

自主 校訓 実践
至誠

福井市学校教育方針

学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

学校教育目標

- ・心身ともに健康で誠実な生徒の育成
- ・主体的、意欲的に取り組む生徒の育成

【目指す子どもの姿】

- ・毎日、めあてをもって楽しく学校へ通う
- ・授業内容を理解し、自ら学ぶ
- ・学校の外とのつながりを通し、将来の生き方について考える

【研究主題】「自ら学び、高め合える生徒の育成」

～学ぶねらいや、学び合う楽しさを共有できる授業づくり～

生徒の実態

- ・行事や部活動に精一杯取り組む。
 - ・人間関係づくりが上手でない生徒や欠席がちな生徒が見られる。
 - ・学習習慣が確立されていない生徒が見られる。
- 社会や地域の要望
- ・夢や希望を持たせること。
 - ・良好な人間関係を築くなど社会適応能力を育てること。
 - ・地域への参画意識を育むこと。

居場所づくり・絆づくり

- 【強み】 行事を通して絆が深まる
- 【弱み】 長期欠席の生徒が多い

わかる授業づくり

- 【強み】 授業態度が落ち着いている
- 【弱み】 学力が定着しない

家庭・地域や中学校区との連携

- 【強み】 地域が協力的である
- 【弱み】 学習に関する小中連携が課題

①「主体的に学びに向かう子」と「多様な他者を認め合う子」をつなぐ集団づくり

- ～自分の考えをまとめ、伝え、深め合う活動の充実～
- ・帰りの会での1分間スピーチを通して、安心して自分の考えを表現できる集団づくり
- ・教室掲示のスケッチブックの活用を通して、集団に求められる力についてのメッセージ発信

②SSTを活用し、子どもと子どもをつなぐ絆づくり

- ・自己有用感や達成感が得られる諸活動や行事の工夫と充実

③不登校といじめの未然防止と適切な対応

- ・相談室における学習の保障と居場所づくり

- ・「毎日学校へ通うのが楽しい」と答える生徒 95%以上
- ・「学校は、子どもたち一人一人を大切に、温かく指導している」と答える保護者 80%以上
- ・「本校は、関係機関と連携をとったり、校内で情報を共有したりして、課題を抱える生徒に十分な支援を行っている」と答える教員 95%以上

②中学校区で連携した教育活動の充実（小学校と中学校をつなぐ継続した取組）

- ・発達の段階に応じたスマートルールの構築による家庭学習の習慣化
- ・学習に取り組む姿勢の共通理解（特に、算数・数学、英語についてはつまずきの対応策）

③「ねらい」「学習活動」「振り返り」をつなぐ授業づくり

- ・基礎基本を定着させるための学習活動の工夫

- ・「将来の夢や目標をもっている」と答える生徒 80%以上
- ・「授業がよくわかる」と答える生徒 85%以上
- ・「発達段階や一人一人の生徒に応じた授業づくりに熱心に取り組んでいる」と答える教員 90%以上
- ・「我が子は、家庭学習に意欲をもって取り組んでいる」と答える保護者 90%以上

①「ふるさと福井CM」を通じた地域理解

- ・校区の小中学生が作成したふるさとCMを通して地域を理解した上で、中学校区のCM作成

③家庭、地域との連携

- ・「家庭・地域・学校協議会」の活用
- ・学校だより、学校ブログによる情報発信

- ・「郷土福井を大切にしたい」と答える生徒 80%以上
- ・「郷土福井についての理解や、地域の人々とつながる活動を推進している」と答える教員 80%以上
- ・「SNSは家庭や学校のルールを守りながら正しく使っている」と答える生徒 90%以上
- ・「学校は、教育方針や教育内容を適切に伝えている」と答える保護者 90%以上